

サイバーセキュリティタスクフォースの今後の進め方

令和6年1月

サイバーセキュリティタスクフォース事務局

目的

- 社会全体のデジタル化が進展し、我々の日常生活や社会経済活動におけるサイバー空間への依存度はますます上昇する一方で、サイバー攻撃の巧妙化・深刻化が進み、セキュリティリスクが高まっている状況にある。更に、厳しさを増す安全保障情勢、生成AIなどの新たな技術・サービスの急速な普及やサプライチェーンの多様化・複雑化などを踏まえれば、我が国のサイバーセキュリティを巡る環境は今後大きく変化していくことが見込まれる。
- これを踏まえ、本分科会は、総務省が中長期的に取り組むべきサイバーセキュリティ施策の方向性について検討を行うことを目的とする。

主な検討事項

- 重要インフラ分野におけるサイバーセキュリティ対策強化の在り方
- サイバーセキュリティの基盤となる人材育成及び研究開発の在り方
- サイバーセキュリティの確保に向けた国際連携及び普及啓発の在り方

構成員(案)

後藤 厚宏 情報セキュリティ大学院大学 学長

上原 哲太郎 立命館大学情報理工学部 教授

小山 寛 (一社)ICT-ISAC ステアリング・コミッティ運営委員長
NTTコミュニケーションズ(株) 情報セキュリティ部長

辻 伸弘 S Bテクノロジー(株) プリンシパルセキュリティリサーチャー

盛合 志帆 国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT) 執行役/
サイバーセキュリティ研究所 研究所長

新井 悠

栗原 純

篠田 佳奈

薦 大輔

吉岡 克成

(株)NTTデータグループ 技術革新統括本部システム技術本部
サイバーセキュリティ技術部 エグゼクティブ・セキュリティ・アナリスト

(株)TBSグローディア デジタル技術事業本部 情報システム部 副部長

株式会社BLUE 代表取締役

森・濱田松本法律事務所 弁護士

横浜国立大学大学院環境情報研究院/
先端科学高等研究院 教授

(オブザーバ) NISC、サイバー準備室、デジタル庁、経済産業省、J-LIS

スケジュール

令和6年1月 タスクフォースを再開し、分科会設置を決定

2月 第1回分科会(以降月1~2回程度のペースで開催)

令和6年夏 とりまとめ

今後のスケジュール(案)

	2023年 (R5)		2024年 (R6)								
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7~8月		
サイバーセキュリティタスクフォース			第46回(1/24) ★ 分科会設置	(必要に応じて開催)							
ICTサイバーセキュリティ政策分科会				第1回 (以降月1~2回のペースで開催) ★							★ 取りまとめ